

# やまもりキャンプ通信

2011. 8. 25 (木) ~27 (土) 第3回「テント村の夏祭り♪」



「さあ、テントを建てよう！」

自分の住む家を、自分で建てる。テントにはそんな秘密基地にも似た楽しみがあります。

みんなでペグをコンコン、張り切ってテントを建てました。

「せーの」でテントが立ち上がる時には

みんなワッと大歓声。



## テント村

今回は「自分達で用意する」という場面がたくさんあ

ります。食事だって自分達で作ります。自分のことはもちろん、みんなで協力して「生活する」ことを感じてもらいたいです。



## 自炊

今回の最も大きなチャレンジは**自炊**です。自分達で**焚き火**を起こして、魚を焼いたり、ご飯を炊く。そういうことを体験する機会は昨今さらに少なくなってきたかもしれません。

今回はスペシャルゲストで、外遊びの達人しのきとブービーが参加してくれ



て、子ども達に火の起こし方を教えてくださいました。今日のメニューは、**焼いた鱧にトウモロコシ**、具だくさんの**味噌汁とご飯**。これだけのシンプルなメニューなのに、自分で炎で焼くことで、はがまで炊くことで、どうしてこんなに豪華で美味しく感じるのでしょうか。火と向き合うこと、生き物が食べ物に変わっていく瞬間。子どもたちの真剣なまなざしの前で私たち大人は、しっかり見守り、見本になることが大切。余計なことを言う必要なんてないのだな、と感じます。



メニューは素朴でも、食べる子ども達の顔は幸せそう。キャンプの夜の温かい食卓。



# 森遊び

草笛、虫取り、思い思いに遊びながら、2日目の森遊びが始まります。まずは自然学校の近くの**アナグマの巣**を見に行きました。アナグマは地面に穴を掘って、出入り口のいくつもある大きな家を作ります。赤ゼロハンの懐中電灯で覗き込みながら、恐る恐る、足跡はあるかな？奥の方にいるのかな？本当に動物が出てくるかもと思ったら、ドキドキしてきます。



**テントの森**で焚き火を起こします。昨日から火を使ってきた子ども達は、もう火を起こすのもお手のものです。誰かが持ってきた**お弁当の具**を焼き始めると、みんな真似して焼き始めました。これが本当に美味しい。ちょっと直火であぶるだけで、贅沢なお弁当に早変わり。

あとは思う存分虫取りに泥んこ遊びに水掛け合戦。子ども達はドロドロになることも、びしょびしょになることもへっちゃらで、びしょ濡れになっては焚き火で温まって、また水掛け合戦！の繰り返しでした。



## テントの森って？

キープ森のようちえん（主催：キープ自然学校）で、子どもが安心して遊べる森づくりと森の整備を親御さん達のコースでやっています。雨、雪でも過ごせるように天幕をつけたこともあり、「テントの森」と名付けられました。

# 夏祭り

さて、今回のテーマは「夏祭り」。  
それぞれ子ども達が出店してくれた楽しい夜店をどうぞ。

## 串焼き屋



男の夢！ソーセージ串！

## 焼きそば屋



## おこのみ焼き屋



あま〜い新鮮キャベツ♪つまみ食い！

## チョコバナナ屋



なんと、お祭りの途中に子ども達の頑張りを祝福するかのように虹が！今回は森遊びの帰りに、突然の土砂降り。頑張って遊んだ子ども達へ虹のプレゼントでしょうか。

**りょうた農園のやさい** やま もりキャンプの仲間、柏木良太くんは、長野県の野辺山高原にある農園で、お家のお手伝いをしながら自分でやさいを育てています。そんなりょうた農園からトウモロコシをいただきました！



## キャンプファイヤー



お祭で使った**残り火**から、松明に火を移します。昔の人はこうして火を絶やさないように大事に使っていたのですね。大きな松明を持ったRくんとAちゃんはおずおずとキャンプファイヤーの薪に火を運んでいきます。厳かに始まり始まり…と思ったらなんと、薪がうまく燃え上がりません。スタッフも大慌てで色々な方法を試みます。そこは昨日からずっと火と向き合ってきた子ども達。だんだんと火の扱いもうまくなっています。Hちゃんがウチワ

で扇ぐと、どんどん火が大きくなって、火を応援する子ども達、「もえろよもえろ」を歌って盛り上げる子ども達、ようやくキャンプファイヤーらしい盛大な火になりました！

さて、今回は炎の明かりでそれぞれの班ごとに「出し物」をしました。忙しいキャンプの合間を縫って、みんなで相談して決めた出し物です。

みんなで考えたクイズ、大好きな野球のクイズ、ダンスにトランプマジック、猛獣狩りゲームなどなど、とても盛り上がりました。最後は今日見た虹にちなんで、みんなで「虹（新沢としひこ）」を歌って、今回のお祭の締めくくりとなりました。

### やま もり こぼれ話♪

キャンプをしていると、いつも火の近くにいて火を守ってくれる子どもが1人か2人いるものです。今回のキャンプでは、自炊や焚き火でほぼ一日中火をつけていました。そんな中、スタッフが「火の神様が降りてきた…」とつぶやいてしまうほど、火おこしに夢中なHちゃん。こめかみに流れる汗も美しく、ず〜っと火の近くでうちわや火吹き竹を手に、火の番をしていました。他のことをしていても、火をつけるとき、火が弱くなってきたときにはすぐに駆けつけてくれます。キャンプ2日目には、すっかり火の達人に！いつか、ほかの子どもたちも「火といえばHちゃん」と、焚き火に向き合うHちゃんを応援するのでは。





2011年度より、毎回「やま もり みんなのうた」を作ることにしました。みんなが知っている歌を替え歌にして、子ども達から言葉を拾い、一緒に歌詞を作っていきます。その時感じたことや言葉を、歌としてずっと口ずさむことができるように…という思いから始めました。今回も素敵な歌が出来ました。どうぞ歌ってみてください（山田証）

**「やま もり みんなのうた」(3ばん)**  
 (新沢としひこ「世界中のこどもたちが」のメロディで)

(Aメロ)  
 テントむらみんなでたてた  
 うまくできました よのさんぽ  
 ちょっとこわかった ヘビがいそうだった

ネスミのかわ おおきなかわ  
 ぶつかってもっとおおきなかわ  
 ムシカゴみだいなクモのす ころびそうになったよ

(Bメロ)  
 あーちゃんとはなしたんだ おふろでクロールした  
 んだ さかながヌルヌルしたんだ ごはんおいしく  
 たけたんだ

(Aメロ)  
 シマシマおそろいパジャマ  
 みんなでキツネをみた テントでねるのたのしいね  
 みんながんばってはたらいた

あかしとみずをかけあった あたままでピショピシ  
 ョ どしゃぶりあめだよ スルメ おべんとうもや  
 きました

(Bメロ)  
 かおあつい キャンプファイヤー  
 チョコバナナおいしかった  
 おこのみやきうまくやけた おまつりたのしかった

(Aメロ)  
 オニヤンマびよんびよんとんで すっとそれをみて  
 いた ダブルのじとほしぞら うたもたくさんう  
 たったよ

ふあんでちょっとだけないて にじがはじっこから  
 きえて きょうははもぬけました さあ もうじゅ  
 うがりいこうよ

**三日目**は朝から後片付けです。

お世話になったテントやシュラフの道具達に、感謝を込めて片付けます。さすがにちょっと疲れた子ども達も、根気良く頑張って最後まで片付けてくれました。

そんな子ども達へ、今日のお昼は台所スタッフからのプレゼント、**スイカ**のデザート付！しかもギザギザカットで帽子みたい。Sくんのお気に入り！今回は本当にみんなで頑張った、素敵なキャンプになりました！



**やまもりの 宝物** (編集後記)

8月後半のやま もり キャンプ。少し秋のにおいも感じるこの季節、森では雨が降ると寒く、晴れると暑い！という気候です。今回は、テントで泊まって自分たちでご飯を作りました。最初は、魚を地面に落としてしまい、食堂の手洗い場で魚をゴシゴシ…なんて光景もありましたが、まる一日火や食材と向き合ううちに、だんだん扱いに慣れてきて、安心してみていられるようになりました。自分で作ったごはんの美味しさは、やっぱり格別。夕方、だんだん暗くなっていく景色に家族を思い出して涙がこぼれた子ども達も、仲間が温かいご飯を運んでくれるとベロリとたいらげてしまいます。もちろん、そこには仲間の優しさも最高のスパイスとなって溶け込んでいたことでしょう。今回も低学年の多いメンバーでしたが、その中でもやはり高学年の子たちはキャンプの楽しみ方をよく知っています！自ら楽しいことを見つけ、下の子たちの面倒もよくみてくれました。スタッフは、いつも「う〜ん、頼もしい!!」と惚れ惚れ。ひたすら元気な低学年と、優しい高学年の絶妙なバランスでした。写真は、紅茶にいれて残ったハチミツを口に入れてくれるお姉さん。こんなことが、最高の笑顔を生み出すのです♪



やま もり キャンプ事務局  
 坂上秋津 (あぎっちゃん)

**「テント村の 夏祭り♪」の仲間たち**

こども：

**スタッフ**：あぎっちゃん (坂上秋津)、あーちゃん (黒田あや)、あかし (山田証)

**リーダー**：すみー (松本澄子)、ちゃき (西川千晶)、トト (池田優)

**スペシャルゲスト**：しのき (篠木真・写真家)、プービー (篠木理恵・保育士)